

2015年度学部間共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
ビジネス・イノベーションⅡ			学部・氏名	
			経営学部	佐野 正博
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	木	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>本講義は、企業・事業の創造や革新の歴史を学ぶとともに、現在におけるビジネス・イノベーション(企業・事業革新)のありようを具体的に学ぶことを目的とする。講師は講義目的の具体化のために学内・学外の講師のリレー式のものとする。</p> <p>現在におけるビジネス・イノベーション(企業・事業革新)のありようを具体的に修得するとともに、その将来の可能性について考える力を獲得することを目標とする。</p>				
2 授業内容				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月24日	講座の概要、成績評価方法等の説明	所属・役職	経営学部専任教授
			氏名	佐野正博
<p>本講座の目的である、企業・事業の創造や革新の歴史を学ぶとともに、現在におけるビジネス・イノベーション(企業・事業革新)のありようを具体的に学ぶことを説明するとともに、目標である、現在におけるビジネス・イノベーション(企業・事業革新)のありようを具体的に修得するとともに、その将来の可能性について考える力を獲得についても概説する。</p> <p>講義は目的の具体化のために学内・学外の講師のリレー式のものであるので、半期の講師・テーマについて説明する。</p> <p>また、レポート作成を含む成績評価の方法についても説明する。</p>				
2	10月1日	小さな商売を始めて成功する方法	所属・役職	ともえ産業情報 代表
			氏名	辻井 啓作
<p>ベンチャービジネス、家業・生業的なビジネスを問わず、創業期は最もエネルギーを必要とする時期である。</p> <p>「商売」として売上の確保を最大の目的として飛び回り、その一方で会社や組織としての形態を整えていく。起こりうることの多くは初めての経験であり、その大半は独力で解決しなくてはならないことである。現在、世にある企業は、創業者のそうした努力により、産み、育まれたものである。</p> <p>本講義は、創業の実際に主眼をおいている。実際に新たな商売を始めて成功を目指す、というモデルケースに添って、独立、創業期や、それ以前の準備期間に必要な要素について考察していく。</p> <p>○参考文献 辻井啓作『独立開業マニュアル』 岩波アクティブ文庫</p>				
3	10月8日	IT経営と企業革新 I	所属・役職	オフィス カミムラ代表
			氏名	上村孝樹
<p>—「SIS(戦略情報システム)の歴史的考察とビジネスへの衝撃」—</p> <p>1980年代前半に認識されたSISがどのような衝撃を市場にもたらしたか、インターネットが登場する1990年代半ばまでの状況を事例中心に解説する。米国のウォルマートからネット通販のアマゾンまで、日本の大企業・中堅企業の事例も含める</p>				
4	10月15日	IT経営と企業革新 II	所属・役職	オフィス カミムラ代表
			氏名	上村孝樹
<p>—「21世紀市場攻略とIT経営」—</p> <p>20世紀の成長戦略と21世紀の付加価値向上戦略の違いを解説。市場攻略のために企業を進化させるアプローチとIT経営の要件を解説、2011年3月11日の大震災後の市場環境の変化についても触れる。</p>				
5,6	10月22日/10月29日	ビジネス・イノベーション 成功企業の事例研究: ウェザーニューズ(1)(2)	所属・役職	ウェザーニューズ副社長
			氏名	戸村 孝
<p>ウェザーニューズは、総合気象情報サービスで世界最大手。1986年設立。民間気象の草分けで、法人分野はもとより個人分野まで顧客を拡大。気象には国境はなく、海外15ヶ国に日本初のニュービジネスをグローバルに斬新な運営モデルで展開中。</p> <p>2000年12月にNASDAQ-Japan上場、2002年12月東証2部、2003年11月東証1部</p> <p>以下のテーマを2回に分けて講義する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業・経営の革新性 ・企業・事業の思い(Dream Enthusiasm Vision Concept) ・情報が価値となる時(Mission Critical, Must have Content) ・WN型ビジネスモデル(Toll-gate type, Global Business Model) ・株式公開の要件(売り人、作り人、数える人) ・企業家精神の組織化(店長制、Glocaler制、GSI) 				
7	11月5日	アジアにおけるビジネス・イノベーション	所属・役職	経営学部専任教授
			氏名	藤江昌嗣
<p>イノベーションを地域性という観点から考えてみる。特に、アジアに焦点を絞り、アジアにおけるビジネス・イノベーションを説明していく。</p>				

8	11月 12日	IT革命とビジネス・イノベーション	所属・役職	ドコモ・システムズ株式会社 顧問
			氏名	木村裕之
<p>サン・マイクロシステムズ株式会社 常務取締役 米国本社Director、ベリタスソフトウェア株式会社 代表取締役社長 米国本社 Vice President、株式会社シマンテック 代表取締役社長 米国本社Vice President、シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 副社長 米国本社 Vice President等を歴任されたエンジニアであり、トップマネージャーでもある講師が、いわゆるIT業界において、世界の先端技術を日本に普及し、日本企業の競争力をトップレベルに引き上げることに全力をあげてきた経験を踏まえ、ビジネス・イノベーション等について講義を行う。</p>				
9	11月 19日	ビジネス・イノベーション 成功企業の事例研究: 授乳服メーカー (1)	所属・役職	モーハウス 代表
			氏名	光畑 由佳
<p>本講義では、授乳服メーカー「モーハウス」の企業に関する報告を2回に分けて行う。 授乳服とは、赤ちゃんに母乳を与えるために特化した服である。10年前、全くマーケットがなかったこの商品を、アパレル業界にも、経営そのものにも縁がなかった主婦が、ふとしたきっかけから作り始めた。事業計画書も、資金もないスタートだったが、現在は、ネット販売のほか、青山にもショップを持ち販売している。 また、子連れ出勤という就業方法を提案。青山のショップに赤ちゃんを抱っこしたスタッフが接客する。マーケット自体を創り出した事例、発想方法として参考にして頂きたい。 ○参考文献 光畑 由佳『働くママが日本を救う！～子連れ出勤という就業スタイル』毎日コミュニケーションズ</p>				
10	11月 26日	セルフ・イノベーション	所属・役職	レバレッジコンサルティング(株) 代表
			氏名	本田直之
<p>ビジネスをイノベーションするためには、自分自身がイノベーションしつづければ変化の激しい時代に対応することができない。そのために学生時代にやっておくべきことについて、セルフ・イノベーションというテーマで説明を行う。</p>				
11	12月 3日	ビジネス・イノベーション 学生時代に仕込むビジネス・イノベーション視点	所属・役職	(株)マロネイト代表取締役社長
			氏名	岡崎 宏行
<p>ビジネスの基本はWin-Win、ただ、改善的成長の視点ではイノベーションは生まれません。革新的成長を狙うには、視点はもとより、スタンスも重要になります。入手すべき情報、戦略的思考法、マーケットバリュー、コミュニケーション能力、タイムマネジメントの視点から、学生の今から研鑽できる糸口を一緒に探っていきます。自分のビジネス人生はもとより、人生シナリオまで含めてマージする機会として活用できれば幸いです。</p>				
12	12月 10日	ビジネス・イノベーション ビジネス・イノベーション成功の5つの鍵	所属・役職	(株)マロネイト代表取締役社長
			氏名	岡崎 宏行
<p>ビジネス・イノベーションを行い、成功を納めるための条件・ポイントは何であろうか？ 革新的な目的や目標を確実に実現する為の『ビジネス・イノベーション成功の為の5つの鍵』について、具体的に解説します。</p>				
13	12月17日	ビジネス・イノベーションにおける社長・ トップマネージャーの勘所	所属・役職	OFFICE SAKUMA 代表
			氏名	佐久間輝雄
<p>厳しい経営を求められる中小企業経営者が、イノベーションを促進しようとする上で、活力ある組織運営をどうすべきかは重要な課題である。 その課題解決のため、障害となる組織の壁とその解決策について代表的なものを講師が社長としての実践経験に基づき解説する。</p>				
14	1月 7日	レポートプレゼンテーション	所属・役職	経営学部専任教授
			氏名	佐野正博
<p>与えられたレポート課題について、プレゼンテーションを行う。レポートは、プレゼンテーション後、授業中に回収する。</p>				
15	1月 14日	総括	所属・役職	経営学部専任教授
			氏名	佐野正博
<p>半期の講義を総括する。</p>				
<p>3 履修上の注意点・準備学習の内容</p>				
<p>毎回出席し、感想を書くこと。また、レポートも提出することになっているので、注意すること。</p>				
<p>4 教科書</p>				
<p>特に指定しないが、資料は講義時に配布する。</p>				
<p>5 参考書</p>				
<p>特になし</p>				
<p>6 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと</p>				
<p>平常点(出席と感想) (40%)、レポート(50%)・プレゼンテーション(10%)を踏まえ、総合的に評価する。</p>				